

その名は「木っ端みじん」

いぶりがっこ刻みパック

大仙の会社

地元の伝統食品の新たな魅力を引き出そうと、大仙市の「たからぼろプロデュース合同会社」が、いぶりがっこを刻んでパック詰めした「木っ端みじん」を発売した。

市内でいぶりがっこを作っている食品会社に製造を委託。くん製（香りや味、独特の食感を残したうえで、スープで高齢者や外国人にも気軽に食べられるようにした。）

1パック150g入り。秋田空港やアトリオン（秋田市）の物産店、東京の「あきた美彩館」、しゅしゅえっとまるしえ（大仙市）などで取り扱っている。問い合わせは同社（090・66623・4147）。

同市の鈴木健一さん（39）が自身のアイデアを生かそうと起業し、

ほか、ピザやサラダ、パスタなど、さまざま



「木っ端みじん」を手にする鈴木健一さん



【古川修司】